

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
1	H26.1.28	①市議、県議、町内会長、有志、住民を交えた話し合いの場を開催してほしい。 ②資料はなるべく日本語(フリガナ、意味、出典等記載可。)で表現してほしい。	①今回の基本計画を踏まえ、今後は具体的な実施計画を検討してまいりますので、機会を捉え、説明をする場を設けるか検討してまいります。 ②わかりやすい表記について努力してまいります。
2	H26.1.29	①スキー場駐車場に、観光案内所を含む複合的な施設(スキー場機能も含む)を建設してほしい。 機能の例: ・バスターミナル、観光案内所、ショッピング、飲食店、温泉施設などの複合施設 ・サイン(標識)や看板・バス停(時刻表)などビジュアルの統一 ・温泉を利用したロードヒーティング ・街頭や側溝などインフラの整備 ・メイン道路のゲートや花壇・並木などの整備	素案でお示した内容は、エントランスハウス、十和田湖温泉郷内の観光案内等の機能をもった拠点施設整備計画になっております。 機能としては、行政でやるべきこと、民間事業者でできること等整理して、今後の具体的な施設整備に向け検討を重ねてまいります。
3	H26.1.29	①施設を2つ整備せず1つの施設で両方を実施し通年で活用するのが今後維持管理する上で効率的だと思う。 ②スキー場グレンデヘプランターによるフラワーアートの実施(2ヶ月ごとにデザイン変更)、ナイター照明による夜間の観覧をしてはどうか。 ③奥入瀬溪流館・湧水館はエコツーリズムの拠点として関わる団体・企業が、指定管理を十和田湖ふるさと活性化公社から引き継ぎ、奥入瀬溪流を広くPRしガイド収入・販売収入により施設の維持管理をしてはどうか。	①素案でお示した内容は、エントランスハウス、十和田湖温泉郷内の観光案内等の機能をもった拠点施設整備計画になっております。この趣旨は、当該地域・地形・面積、人の回遊性と動線を考慮した提案であります。今後はより効率的な整備・運営方法を検討してまいります。 ②十和田湖温泉スキー場の活用方法として参考とさせていただきます。 ③管理者、管理・運営方法等については、今後検討する上で参考とさせていただきます。
4	H26.1.29	①溪流(青樺山)バイパスの完成に際しては、惣辺交差点から子ノ口交差点までを一般車両を通行禁止とし、徒歩またはシャトルバスのみ走らせてはどうか。 ②スキー場駐車場にバスターミナルを整備してはどうか。	①青樺山バイパス完成後における奥入瀬溪流沿いの国道102号のあり方については、関係機関や団体と情報交換を行い、管理者を含めた情報共有を行ってまいります。 ②機能について、参考とさせていただきます。
5	H26.1.30	地域の名称があいまい。十和田湖温泉郷は、十和田湖から離れている。焼山は県外のお客様はわからないので、周知を図る上でも奥入瀬の名称を取り入れてはどうか。	十和田湖温泉郷の名称については、行政だけで決定できることではありませんので、地域住民、関係機関・団体・事業者など共通した認識が必要であるものと考えます。

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見（パブリックコメント）の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
6	H26.1.30	ゆたかな自然に恵まれている焼山をだいなしにしてしまうあぶない計画だと思う。 形ばかりの意見交換会ではなく、始めから意見交換を行い案を出してほしい。	今回の提案が実施に向けた最終的な決定ではありません。今後は具体的な整備内容及び規模並びにスケジュールを精査し、実施計画の中で検討していきたいと考えております。
7	H26.1.30	①各種クレジットカードに対応したATMを拠点施設に設置してほしい。 ②十和田湖温泉郷町内メインストリートの活性の意味を含め、「食」のインキュベーションを実施してほしい。 ③廃墟の対処を早急に対応していただきたい。 ④第二温泉郷に掘削した温泉を使った温泉病院があれば良い。（環境が良く温泉でリハビリができる。） ⑤宿にチェックイン後時間が余っているお客様が多数いることから、アーティストによるワークショップや体験、またアーティストの作品を展示するスペースもあれば良い。	①行政が設置できるものではありませんので、民間事業者の協力・促進について検討してまいります。 ②「食」に係るインキュベーション（起業支援）がどのような点で行政で可能か、十分な検討が必要であると思います。 ③基本的に建物所有者が整理・対応を優先して行うものと認識しておりますが、行政でどのような取組が可能であるか検討してまいります。 ④病院施設の整備については、行政での設置・対応が難しいことから民間事業者が主体となった取組が必要であります。設置に向けた必要な情報収集・整理を行うとともに、関係機関との連携を図ってまいります。 ⑤素案にもお示ししたとおり、アーティストのレジデンス・制作スタジオ機能は必要なものであると認識しておりますので、今後の参考とさせていただきます。
8	H26.1.30	①スキー場、パークゴルフ場について、より幅広い年齢層を呼び込めるような施設を充実させてほしい。いろんな方がいろんな選択ができ、一日いても飽きない、一日では足りない奥入瀬の自然を活かした施設やアート、アクティビティ等を計画してほしい。 ②ひまわり畑のおかげで初めてパークゴルフを知り、体験してみたいというお客さんもいた。 ③温泉郷だけでなく、各エリアの老朽化した建物や空き家、空地の整備を優先し、一新した焼山を発信すべき。	①十和田湖温泉スキー場、八甲田パノラマパークゴルフ場など既存の施設を活用し、より魅力的な機能の充実について、今後の参考とさせていただきます。 ②スキー場における花の取組について、ひまわりの整備・管理に対してある程度の費用がかかること等を勘案し、費用対効果を検証した上で、今後の取組を検討してまいります。 ③基本的に建物所有者による整理・対応が優先されるものと認識しておりますが、行政で可能な取組について、今後検討してまいります。

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見（パブリックコメント）の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
9	H26.1.31	<ul style="list-style-type: none"> ①焼山の食材を使ったスイーツやカフェなどの喫茶店をつくる。 ②薬や日用品などが買える商店（コンビニ）があると便利。 ③おみやげが買えるお店を作る。 ④防水タイプの豪華なイルミネーションを作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②民間事業者の取組が行われるよう整備促進期待しております。 ③行政においては案内機能を備えた拠点施設での検討を行います。 ④自主的な活動を展開している団体と連携を図ってまいりたいと考えております。
10	H26.2.3	奥入瀬源流水製造施設をスキー場駐車場などに設置予定の建造物に移動し工場として稼働させるのが良い。	拠点施設に工場機能を設置することは想定しておりません。
11	H26.2.3	<ul style="list-style-type: none"> ①居住者の誘致 ②日常生活品売り場の設置 ③一日中遊べる（複合）施設の設置 ④有名チェーン店の設置。 ⑤市の地場産の素材を使ったメニューのおしゃれなカフェ ⑥居住空間や既存の建物を利用してアーティストが長期滞在できるレジデンスシステムを設ける。 ⑦十和田市現代美術館別館として奥入瀬エリアに小規模な美術館を設置。 ⑧歴史的シンボルとしてシャトル馬車など馬をもっと出すべき。 ⑨七戸十和田駅からのバスを増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ①②④⑤民間事業者での取組と考えられることから、事業者との連携・促進を図ってまいります。 ③一定の規模が必要になると想定されることから、今後具体的な事業を展開する上で検討してまいります。 ⑥素案にも示したとおり計画エリア全域の共通事項であると考えておりますので、今後個別具体的に考えてまいります。 ⑦ ③番と関連させ、今後具体的に検討してまいります。 ⑧今後の参考とさせていただきます。 ⑨素案にも示したとおり交通手段の整備は必要であると認識しておりますので、今後具体的に検討してまいります。

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見（パブリックコメント）の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
12	H26.2.3	<p>①今ある資源を深掘りして観光に活用してほしい。奥入瀬焼山は自然を第一にしてほしい。</p> <p>②焼山で働いている人、地元の声を多く取り入れ大切にしてほしい。</p> <p>③溪流、鳶沼歩道、スキー場を利用した人が温泉割引が受けられるようにしてほしい。</p> <p>④ハコッコの木材を利用したモノづくりなど子供が遊べる体験を増やしてほしい。低料金設定が望ましい。（竹とんぼづくり、木で火起こし、クラフト作り、アート体験、竹馬、押し花など）</p> <p>⑤絵を書く体験指導メニューを作ってほしい。（料金1,000円程度、一時間程度の絵の指導）</p> <p>⑥焼山のみでなく十和田の観光交流会を定期的に何度も開催してほしい。</p> <p>⑦十和田のホームページに十和田旅行メニューを追加してほしい。</p> <p>⑧十和田湖温泉スキー場を通年活用できるようにしてほしい。春夏秋は山登りができ、頂上から景色を眺める、ペットボトルロケット作成飛ばし体験、ペットの遊び場、ピクニック広場、ソリスベリなど。</p> <p>⑨第1リフト（下側）に緩斜面をつくってほしい。初心者もすべれるコース。</p> <p>⑩バリアフリーを充実させ、車いすでも宿泊、観光、体験できる環境をつくってほしい。</p> <p>⑪ペット可能施設（宿泊、観光）を増やしてほしい。</p> <p>⑫外国語講座を開設し、観光に携わる人が外国人観光客におもてなしできるようにしてほしい。</p> <p>⑬奥入瀬溪流沿いの危険木伐採について、景観を考え根元から伐採してほしい。</p>	<p>①自然を壊すことのないように注意し、既存の観光資源を活用してまいります。</p> <p>②機会を捉え、ご意見を聞く場を設けるかについて検討します。</p> <p>③今後の参考とさせていただきます。</p> <p>④子どもの体験場所としてプログラムを検討する上で参考とさせていただきます。</p> <p>⑤アートや体験メニューのプログラムとして参考とさせていただきます。</p> <p>⑥焼山に限らず市全体の観光施策を検討する上でご意見とさせていただきます。</p> <p>⑦行政としての対応は難しいと考えておりますが、関連団体や民間事業者の取組を検索しやすくするなど情報発信の整備の一環として参考とさせていただきます。</p> <p>⑧冬季以外の当該施設活用方法について、今後の具体的なプログラム内容として参考とさせていただきます。</p> <p>⑨大規模な整備が必要となることが想定されますので、整備は難しいものと考えております。</p> <p>⑩基本的な考え方として今後の参考とさせていただきます。</p> <p>⑪公共施設としてペット受入れは難しいものの、民間事業者施設の協力が可能か参考とさせていただきます。</p> <p>⑫講座の開設は行政施策として難しいものの、外国人観光客に対する接客は必要と考えていることから、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>⑬関係行政機関や団体との調整が必要であるため、参考とさせていただきます。</p>
13	H26.2.3	<p>ATMを設置することにより、観光客や地元の方も利用し景気が良くなると思われる。スキー場駐車場に整備する観光案内施設にコンビニエンスストアを設置することにより実現可能と思われる。</p>	<p>ATMの設備は行政主体では難しいため、民間事業者による設置が可能か検討してまいります。</p>
14	H26.2.3	<p>①電柱を撤去・埋設できないか。</p> <p>②源泉（猿倉温泉）の再整備を実施し、源泉の量を確保する。</p> <p>③第二温泉郷へのインキュベーションや栽培施設など施設で温泉郷の配湯を活用し暖房設備やロードヒーティングなどへ活用できないか。（再利用）</p>	<p>①民間事業者・関係機関の協力が必要であるとともに、財政的な負担がかかるのか、景観上必要なものか検討する必要があるものと思われます。</p> <p>②現状の源泉の再整備については、費用対効果を検証し、その必要性について検討します。</p> <p>③第二温泉郷は民間事業者の取組を想定しており、素案で示したとおり温泉湯熱を活用した取組は必要事項と考えておりますので、参考とさせていただきます。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
15	H26.2.3	<p>①芸術、温泉、花など今ある要素を有効に活用発展させる手法が時間やコストを削減させるために効果的</p> <p>②十和田市現代美術館に来た人が、もう少しだけ足を延ばそうかという気持ちにさせるべき。</p> <p>③花を愛でる気持ちは万人に共通する気持ちで、温泉好きの方も大勢いる。</p> <p>④ヒマワリは手間がかからず、種子も比較的安価に入手可能で、見栄えのする花は少ない。</p> <p>⑤周辺に自生する山野草は背丈も小さいものが多く、植栽には適さず、見栄えのするほど植えつけることは却って不自然であり、莫大な手間と経費がかかる。</p> <p>⑥奥入瀬のような寒冷で日差しの少ない森林では、園芸品種等の種子は容易に発芽できないと思う。次世代が発芽しにくいハイブリッド種の利用も考えてはどうか。</p> <p>⑦国立公園法の趣旨を考慮し、自然の保全も大事な事ですが、それを有効利用してこそ地域の活性化につながる。</p> <p>⑧宿泊・飲食・商店などにお金を使ってもらおう仕組みは、行政で関与することでしょうか。行政サイドの策が全くないとは言いませんが、これは民間に任せの方がよいと思われます。</p> <p>⑨行政としてはむしろ敷居を低くして数多くの方に来ていただくようにすべき。</p> <p>⑩スキー場の活用に関しては既存のサイクリングコースを活かしたヒルクライムや不整地でのマウンテンバイク等のコース造りもさほど経費もかからず造成できるでしょう。山菜採りツアーや調理体験も国立公園区域外であればこそできること。</p> <p>⑪何も無いことの素晴らしさ、素朴な暮らし、他地域にはない普通の光景を観光資源として捉えアピールすることが、この地域の売りになるのではと思います。これらの項目の再発見を市民上げて探す運動はいかがでしょう。</p>	<p>①既存の観光資源とともに、3本のテーマを有効に活用し、奥入瀬焼山の魅力向上を図ってまいります。</p> <p>②現代美術館の来館者にも立ち寄ってもらえるような施策が必要であると考えています。</p> <p>③花を活用しての活性化は、観光客の方に対するおもてなしの気持ちと、雇用の確保に資するものと考えています。</p> <p>④⑤⑥⑦今後の参考とさせていただきます。</p> <p>⑧民間事業者の取組が促進されるよう、十分な連携が必要であると考えております。</p> <p>⑨観光客の年齢層や性別など客層の想定は費用対効果を検証する上で必要であると考えておりますが、より観光交流人口が増えるよう検討する必要があるものと認識しております。</p> <p>⑩今後の参考とさせていただきます。</p> <p>⑪観光は自らの居住する地域を再発見する良い機会であると認識しておりますので、継続的な対話や検証は必要なことであると考えております。</p>
16	H26.2.3	<p>①現在の計画は、早くて5年、長ければ10年という計画のようだが、遅すぎると思う。</p> <p>②ハコッコの足湯内の公園内や公園付近のバリアフリー化は必須であると考えてる。</p>	<p>①当該計画期間は、事業の内容にもよりますが、概ね5年間と考えております。</p> <p>②当該施設も含め、バリアフリー化がどこに必要であるか、どのように必要であるか、費用対効果や優先順位も含め検討してまいります。</p>
17	H26.2.3	<p>十和田湖温泉郷及び十和田湖温泉スキー場の名称について、いずれも十和田湖には隣接しておらず、それぞれ「奥入瀬温泉郷」及び「奥入瀬温泉スキー場」などに名称変更し、名称から得るイメージの位置と実際の位置との乖離を排除してはどうか。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見（パブリックコメント）の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
18	H26.2.3	<p>十和田湖温泉郷に集客するため以下を要望します。</p> <p>①街灯・案内板など環境整備 ②花とアート、農産物の販売 ③廃屋の撤去 ④空き家の利用</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
19	H26.2.3	<p>市への要望</p> <p>①風呂上りに、おそば・お茶などできる所があればよい。 ②子どもたちまたは家族で遊べるような場所があればよい。 ③人の住んでいない家や壊れた建物等をいつまでも放置しないで、整理してほしい。</p>	<p>①②今後の参考とさせていただきます。 ③基本的に建物所有者が整理・対応を優先して行うものと認識しておりますが、行政でどのような取組が可能であるか検討してまいります。</p>
20	H26.2.4	<p>滞在型の観光を目指すなら自然を生かした体験コースを提供したら良いと思います。 たとえば溪流釣り、きのこ狩り、山菜狩りなどの体験をさせ、その後それを使った料理まで体験させたら良いと思います。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
21	H26.2.4	<p>①計画素案は、構想であるのか、計画であるのか、またより具体的な計画はどのように策定されるのか、口頭補足がなくてもわかるように、計画の位置付けを記載すべき。最終案に対する意見交換やパブリックコメントはいつを予定しているのか。</p> <p>②計画目標を実現する要素が、何故「花、温泉、アート」なのかという理由が示されていない。理由、根拠を示してほしい。</p> <p>③一連の活性化フローを実現していくためには、各種指標(ベンチマーク)による評価とそれに基づく機動的な計画の修正を行うことが必要ではないか。顧客ニーズの把握や、旅行スタイルの把握、それらから読み取ることのできる課題等についての現状分析が行われる必要がある。</p> <p>④温泉は地域固有の資源であり、計画要素として相応しい。創作活動やアート作品を対象とした周遊等において滞在時間の増加につながるものと期待できる。</p> <p>⑤花がなぜ活性化に結びつくのか、どのように観光振興に結びつくのか不明。これまでの試行の結果どのような成果があったのか、またはどのように見込むのか計画に記載すべき。スキー場の花に関しては、極めて限定的な雇用であり、定住や雇用の成果に結びつけることに疑問を感じる。</p> <p>⑥外来園芸種を道路脇や店舗前等の小規模な植栽以外で、大規模にかつ外来種を植栽することに懸念がある。</p> <p>⑦奥入瀬溪流の入口、近傍において「ひまわり」を始めとする、この地域が本来持つイメージではない写真等によって、PRされること自体、これまで培ってきたブランドイメージの著しい低下要素にさえなっている。国立公園入口に外来園芸種を大規模に植栽することは、エコパーク構想と矛盾はしないのか。</p> <p>⑧青檜山バイパス完成後の焼山地域の将来像こそ、今から議論を重ね、準備すべき問題であり、計画を構成すべき最も重要なテーマの一つである。</p> <p>⑨観光客にお金を使ってもらう仕組みをより具体的に記載、または参考事例等を掲載すべき。</p> <p>⑩クリエイティブな思考、アイデアは、一連の活性化手順に資するものでなければならないが、温泉・花などが無条件に観光要素として記載されていることに疑問を感じる。</p> <p>⑪計画の名称について、当該地域の課題や強みに基づき、対応すべき必要な事項が網羅されたものであるだろうという印象を対外的に与え誤解を招きかねない。自然要素を十分分析、評価していない以上、安易に奥入瀬という言葉を使用すべきではない。</p> <p>⑫3つのエリア分けは、地域エリアそれぞれの特徴を生かすという意味において大変有効であるが、内容の具体性が乏しい。キーワードだけでなく、地域の持つ歴史や文化を演出しつつ、どのような意味・役割をそれらの地域に持たせるのか深く考察すべき。</p> <p>⑬十和田湖温泉スキー場エリアについて、どのようなアクティビティや利用シーンを想定するのかわからないと、どのようなエントランスハウスを整備するのか漠然としたイメージに過ぎないものとなる。</p>	<p>①本計画は基本計画であり、個別具体的な事業までを想定した計画とはなっておりません。詳細な事業等は今後検討してまいります。本基本計画は今後展開する事業の方向性を記載するものと考えております。</p> <p>②本計画の目的は、十和田湖温泉スキー場などの夏季遊休施設の活用とともに、観光産業の振興、雇用の場の創出を図り、若者の定住人口の増などにより地域活性化を目指すものであります。当市観光資源であります、温泉やアート、また遊休施設を活用するため花などの資源を活用し、活性化を目指すことを考えたものであります。</p> <p>③各種指標や具体的なニーズ、旅行スタイルの把握などは、基本的な条件として必要であると考えております。地域への観光客や公開されている指標等を参考に引き続き検討してまいります。</p> <p>④今後の参考とさせていただきます。</p> <p>⑤花を活用した活性化について、シバザクラの例では、北海道大空町や愛知県豊根村など多くの観光客を集めている事例があり、有効な手法のひとつであると考えています。雇用も含め、今後の取組方針、内容について検討してまいります。</p> <p>⑥⑦大規模に外来種を植栽することについては、費用対効果、奥入瀬等の自然への影響がないように進めるなど、今後も引き続き検討してまいります。</p> <p>⑧重要なご意見として参考とさせていただきます。</p> <p>⑨基本計画では考え方、方向性を掲載するもので、具体の記載については行うものではありません。</p> <p>⑩温泉、花などの観光要素を活用して活性化に結び付ける際に、デザイン性を高めたり、工夫を凝らすことにより、他との差別化を生むなど独自の観光要素として質を高めていきます。</p> <p>⑪本基本計画では、焼山地区における内容であり「奥入瀬溪流」における取組を網羅したものではありません。従って、「奥入瀬」の文言を計画名から削除し、対象地区名をわかりやすく「焼山地区活性化基本計画」としたものであります。</p> <p>⑫それぞれのエリアにおいて、詳細の事業の記載までは行っておりませんが、今後の具体事業の想定をしていく中で、検討してまいります。</p> <p>⑬詳細事業について記載するのではなく、今後の個別具体的なプログラムに対応できるよう、今後のご意見等を踏まえて、エントランスハウスの規模等を検討してまいります。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
22	H26.2.4	<p>①女子だけでも安心していけるように、アクセス道路と駐車場の安全、散策路・トイレ・避難場所の整備や表示、レベル毎コースの提案、温かいおいしい飲み物などがあると良い。</p> <p>②単身家庭へのレクリエーション補助があると良い。</p> <p>③中高生が放課後や休日に自力でいけるように、市中心部からスキー場までバスを出すのも良い。スキー場ではハーフパイプやモーグル、ジャンプなど若者の楽しみを作ってほしい。マウンテンバイクやスケートボードなどが春夏はあると良い。</p> <p>④馬の町なので、馬で駆けたり、馬で長距離を巡る、フランスのように馬ごとに泊まれるホテル、ツアーガイドと伴走の車がついて数日かけて旅行するなどはどうか。地域が狭くて高低差が険しいということは、コンパクトに変化に富んだコースがとれる。</p>	<p>①④今後の参考とさせていただきます。</p> <p>②③観光の観点から、費用対効果や優先順位等も併せて検討し、参考とさせていただきます。</p>
23	H26.2.4	<p>(建設する施設について、)できる限り効率的に収入を生み、多くの雇用ができるように計画するため、今の段階から(管理の)事業者候補を交えた計画を出してもらってはどうか。</p>	<p>施設建設後の運用については、効率的で効果的な管理が望ましいことから、今後、進捗状況に合わせて検討してまいります。</p>
24	H26.2.4	<p>春夏秋冬を通じて楽しめ、子どもから年配まで誰でも来れるようにし、またもう一度来たいと思えるような場所になってほしい。</p> <p>ただの通過点にならないよう足をとめてもらえるような場所になればと思う。</p> <p>現在いろいろなアクティビティが焼山地区にあるので、もっと広がりたくさんの方に知ってもらいたい。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>
25	H26.2.4	<p>①奥入瀬造形研究所を作る。芸術文化の拠点として、地元の木材を使った作品などを制作できる場所。奥入瀬の新たな商品開発を行う施設。全国の芸術大学・美術大学などから長期休暇の時期に、学生を募集し、レジデンスプロジェクトを企画。有名アーティストを招致、参加学生の糧となる体験と、奥入瀬への注目度を高める。</p> <p>②一般にお客さんを対象とした天体観測を設置。夜の観光コンテンツとして展開させる。</p>	<p>今後の参考とさせていただきます。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
26	H26.2.4	<p>奥入瀬を今後どういう観光地として育てていくべきなのか、根本的なディスカッションが十分になされないまま、理念と必然性が欠如している。</p> <p>奥入瀬の価値は、質の高い森林環境と河川環境、アプローチのよさにある。十和田市観光の姿勢は、この自然という直球で勝負し、A級の自然を訴えかけようとしているとは思えない。</p> <p>アートの原点は自然にある。十和田市が美術館をやるのならば、奥入瀬や十和田湖の自然を根幹のテーマにすえおくべき。</p> <p>ひまわりを始めとする園芸種植栽を主とした焼山構想は、奥入瀬溪流の玄関口にあたる焼山地域が本来持っている、持つべきイメージに基本的にそぐわない。「天然保護区域の持つブランド力」を、著しく低下させるおそれがある。</p> <p>国立公園特別保護地区の近傍に、在来種ではない植物を大規模植栽することに、環境保全上の視点でその影響を考慮しているか。</p> <p>来たるバイパス開通による、奥入瀬自然観光の「前哨基地」となる焼山のあるべき姿こそ、現時点から検討し、準備をしていくべき課題で、真の焼山活性化計画の根幹をなす最重要テーマとなる。</p> <p>まずは根本の思想・理念から議論をやり直すべきで、いったんこの素案を白紙に戻し、市と受注者と有志市民が同じテーブルに着くところから、改めて素案を作成してくべき。</p> <p>奥入瀬の自然の特質を、具体的に、理念とビジョンを基にした展開のないうる人が、この町の観光行政に関わっていける環境づくりが、最大の急であることを提議したい。</p> <p>＝新たな基本概念の議論に際して、市が用意し示すべきと思われる資料＝</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. これまでの試行(ヒマワリ植栽)により、どの程度新たな顧客の獲得につながったのか 2. これまでの試行によって、ビジターの滞在時間はどの程度増えたのか 3. これまでの試行によって、どの程度宿泊や飲食等に結びついたのか 4. 焼山を訪れるビジターは、どのようなニーズを求めてきているのか 5. 現在のビジターの旅行スタイルはどのようなものか 6. 他の関係機関が行っている事例収集とその傾向 7. 国内外の自然公園エリアの旅行者ニーズの動向 8. 国内外の自然公園前哨基地における街づくりの事例収集とその解析 9. 各地で実施されているエコツアーの商品開発の実例収集とその解析 10. エコツアー事業者、宿泊事業者、飲食店、土産店等が連携することで成功している事例収集 11. 具体的な焼山活性化計画はどのように策定されるのかの今後の指針 12. 最終案に対する意見交換やパブリックコメント検討へのロードマップ 	<p>大規模な植物の植栽については、費用対効果、自然環境に悪影響を極力抑えるなどを勘案し、引き続き検討してまいります。</p> <p>本計画の要素である「花と温泉とアート」に限らず、観光資源となりえる要素は存在するものと認識しております。</p> <p>それらを踏まえた上で具体的な事業を検討してまいりますので、引き続きご意見をいただきますようお願い申し上げます。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見（パブリックコメント）の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
27	H26.2.4	<p>魅力というもの、創り出すものではなく、本来そこにあるものであり、それを見つめ直し、見つけ出し、どうやって活用していくか考えいく必要がある。</p> <p>一見華やかな場所ではないとしても、その土地の植物、地質、歴史を洗い出して情報を整理していくと、すごく面白いプログラムになる。</p> <p>魅力をきちんと把握すれば、どういう方向に進んでいくべきかわかる。魅力をきちんと発信すれば、地元に残る若い人が増えるかもしれない。魅力をきちんと整理すれば、それを糧にして仕事にしたいと思う人が増えるかもしれない。</p> <p>なぜ花ありきなのか、本来ないものを植えるということは、元々の自然やその魅力を否定していると思えない。</p> <p>なぜいつも物事がいつのまにか進んでいってしまうのか。今こそ情報を共有し、同じ方向を見て、一丸となって前に進むべき。話し合うべきは、アートや花のことではなく、それ以前のこと。</p>	<p>既存の観光資源である自然要素を否定するものではなく、奥入瀬に既に存在するものとして自然環境は重要なものであると認識しております。</p> <p>本基本計画では、3つの要素である「花と温泉とアート」という観光資源を加えることにより、焼山地区へ観光交流人口が立ち寄るとともに、それらを維持管理するための雇用が生まれ、定住者の増加に結びつくことを目標としているものです。</p> <p>引き続きご意見をいただきますようお願いいたします。</p>
28	H26.2.4	<p>焼山に「県立自然博物館」を建設してはどうか。</p> <p>①十和田湖奥入瀬八甲田の玄関口に立地し、その質の高い自然の見方と魅力を観光客に伝える役割を担うべき場所である。</p> <p>②県民はもとより全国から来る観光客に利用され、まさしく「県立」の名に相応しい施設となりうる。</p> <p>③ユネスコエコパークの認定において、その対象エリアである十和田湖奥入瀬八甲田の中核施設として機能できること。</p> <p>④子どもから大人まで十和田湖奥入瀬の持つ本当の価値を理解してもらう大きな役割を果たし、それがもっとも有効な県内外への営業力となりうること</p> <p>⑤「温泉」「アート」と絡めた施設にすることで、独自性のある「自然博物館」となり、焼山地域の象徴的存在として地域の集客に大いに貢献できること。</p> <p>などが理由である。</p> <p>焼山地区は、「花を植えて十和田湖奥入瀬を見に来た観光客にちょっと寄ってもらいたい」程度の場所ではないはず。</p>	<p>県立施設としての自然博物館は、十分な検討が必要であると考え、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、素案でもお示した「奥入瀬溪流館・湧水館」においては、エコツーリズムの拠点としての整備を考えておりますが、具体的な規模等については、今後も十分な検討が必要であると認識しております。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
29	H26.2.4	<p>①十和田湖温泉郷出入口からスキー場駐車場、はっここ、温泉街周辺に街灯を設置し、ハンギングバスケットによる花飾り及び空地利用の花壇整備</p> <p>②宇樽部バラ園からのバラの移植</p> <p>③スポーツランド又は廃屋になっている建物にオーバーフローした温泉を利用しての植物園</p> <p>④スキー場斜面に植栽は無理な要素が多すぎるため止めて、地表へのダメージの少ないコンテナ又はバスケットによる花飾りの方法もあり。</p> <p>⑤国立公園奥入瀬渓流内は日照の悪さと、気温の低さにより植物が発芽・生育しにくい環境ですが、最大限の注意は必要。</p> <p>⑥ハンギングバスケット、バラ、球根、花壇においてはメンテナンスの雇用が必要となる。</p>	<p>①素案でもお示した内容に合致するものと理解しており、今後の具体的な計画に向けて、引き続きご意見をいただきますようお願いいたします。</p> <p>②所有者や他の皆様のご意見をいただきながら参考とさせていただきます。</p> <p>③温泉を活用しての温室栽培は、産業の振興という観点から第二温泉郷でのエリアを想定しております。今後の具体の規模等については、引き続き検討してまいりたいと考えております。</p> <p>④⑤スキー場斜面への植物の植栽は、費用対効果や自然環境への影響などを勘案して、引き続き検討してまいります。</p> <p>⑥今後の参考とさせていただきます。</p>
30	H26.2.4	<p>はっここ主催の「音楽と収穫を祝う祝典」を3日間くらい、最低10年間は続ける。</p> <p>多彩なジャンルがある音楽と、各家々が持ち寄った収穫物(家自慢の料理など)を集め、そして、酒を飲み唄い語りつくして帰ってもらう。</p>	<p>行政における実施は難しいものと思われませんが、関係機関・団体における実施が可能であるか、費用対効果、実施内容等を情報共有しながら慎重に検討する必要があるものと思われま。</p>
31	H26.2.4	<p>①焼山における植物の植栽は、奥入瀬渓流の現存の植生の存続に関わる重要な問題となる危険性がある。焼山における大規模な植栽には反対。</p> <p>②多くの宿泊の必要な観光客は、遠方からの来訪者であり、焼山の里山、奥入瀬渓流の自然の魅力がうまく伝わるようになれば、都会の人々に新鮮に映ると思う。焼山の里山の魅力を知るための調査等は、地元の住民、ガイドなどに依頼すれば、雇用も生まれる。</p> <p>客が何を求めているのか、しっかりとした調査に基づく計画が必要であり、結果等があれば開示をお願いしたい。</p>	<p>①大規模な植物の植栽については、費用対効果、奥入瀬渓流等の自然への影響等を勘案し、引き続き検討してまいります。</p> <p>②既存の魅力発信、調査をどのように行うことが効果的なのか、皆様のご意見を参考に引き続き検討してまいります。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見（パブリックコメント）の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
32	H26.2.4	<p>①アート、温泉、花を柱としてこの計画を策定することになった経緯を詳しく説明してほしい。</p> <p>②焼山温泉周辺の廃墟整備は必要であるが、そこにはなぜ花とアートが必要なのか。おもてなし要素ではあっても、来十の動機づけにはならない。</p> <p>③新しい施設を建設すればお客様が来るだろうという安易な考えは捨て、訪れたお客様により奥入瀬溪流・十和田湖の魅力や楽しみ方を提案できる案内所の設置や、案内人の知見を高めるソフト面の充実が不可欠だと考える。地元の間人が、誇りをもって、胸を張って生活できるような環境と意識があって初めて、地域が活性化すると思う。</p>	<p>①花については、既存温泉郷という観光地に、花を活用してお客様をお迎えするとともに、花の整備・管理を通しての雇用効果が生まれるものと期待しての要素であります。また、アートについては、十和田市現代美術館の広がり市街地だけではなく、焼山地区に広げ、自然と芸術的な要素を掛け合わせることで、この地域にしかない新たな魅力を市内外にPRできるという期待をもってのことです。温泉については、既存の温泉加え、第二温泉郷に試掘した温泉源を活用することで、新たな温泉郷としての取組が期待されていることにあります。これらの要素をそれぞれの点で捉えるのではなく、整理した計画として活性化に結び付けようと考えた経緯があります。</p> <p>②花だけの来十の動機づけは難しいと認識しており、様々な要素があってこそその活性化があると期待しております。</p> <p>③施設建設だけではなく、案内人の方の養成などソフト面の充実も重要であると認識しておりますので、今後も引き続き、ご意見をいただきますようお願いいたします。</p>
33	H26.2.4	<p>奥入瀬焼山独自の計画とするのであれば新たに花を植えるという一過性のモノではなく、奥入瀬溪流という他に類をみない自然環境を市民や観光客がどうしたらより身近に触れてゆけるのかに目を向け、次の世代の[奥入瀬焼山に対する知的好奇心]や[奥入瀬焼山から広がる十和田地域への愛]を育てられる独自のミュージアムの建設などにこれから注げる力を転換して頂きたい。</p>	<p>自然環境とその観光客に対する場の提供場所としては、奥入瀬溪流館・湧水館における施設整備での想定をしております。</p>

奥入瀬焼山活性化基本計画素案に係る意見(パブリックコメント)の結果と回答

※意見概要は、意見の内容を要約して記載しております。

No.	受付月日	意見概要	回答
34	H26.2.4	<p>①自然豊かな奥入瀬溪流の玄関口で人を集める仕組み、お金を使ってもらう仕組みの要素が【自然】ではなく【花・アート】なのでしょうか？</p> <p>②またその仕組みとはどのような内容でしょうか？</p> <p>③なぜ地域の声を聞く前に【花・温泉・アート】といった枠組みで決められてしまったのでしょうか？この主要テーマから再考の余地があると思います。</p> <p>④3～5年の計画期間が終わり予算が途絶えた後には花をアート作品はどのように維持管理していくのでしょうか？予算が終わったら全て元通りですか？</p> <p>⑤3～5年の計画期間が終わり予算が途絶えた後には花やアートによる持続可能な雇用は残るのでしょうか？(花やアートで食べていける人)</p> <p>⑥外来種による大規模な花畑を作ることでエコパーク構想への影響はありませんでしょうか？</p> <p>⑦バイパス完成後、観光拠点となるであろう焼山地区に観光客を受け入れ可能な施設兼十和田湖スキー場施設の建設を希望します。</p> <p>⑧市民の声を交えた計画にすべきなのでこの奥入瀬焼山活性化計画の再考を希望します。</p>	<p>①「自然」を否定するものではなく、今回の計画の要素が花とアートと温泉です。必要な要素については、これら以外にも存在するものと認識しております。</p> <p>②観光客の皆様にも多数焼山地区に立ち寄っていただき、滞在していただくことで、当該地区における消費、宿泊をしていただくことを想定しております。</p> <p>③ ①に関連し、観光資源の要素は他にもあるものと認識しております。</p> <p>④計画期間は、建設や改修事業であれば完了するまでの期間を意味し、ソフト事業や係る施設等管理については、当然引き続くものと想定しております。(財源や管理主体者、管理方法などは今後も検討が必要と考えます。)</p> <p>⑤期間終了後の予算については、財源や管理方法などで様々な手法があるものと考えます。それらを組み合わせ、持続可能な雇用となるよう引き続き検討、議論が必要と考えております。</p> <p>⑥大規模な花畑については、費用対効果や自然環境への影響等を勘案し、引き続き検討してまいります。</p> <p>⑦今後の参考とさせていただきます。</p> <p>⑧計画の内容については、より効率的で効果的な展開が必要であると認識しております。</p>
35	H26.2.4	<p>①根本的な計画の見直しを図るべき。花と温泉とアートについての再検討を提言したい。貴重な自然を保全しながら、その土地の自然や文化、歴史、民俗などを伝える事を前提とした活性化計画こそが本来やるべきこと。</p> <p>②大規模な植栽によって国立公園内に外来種が浸入する危険性が高いことを危惧している。</p> <p>③青森県の湯治文化や第二温泉郷に湧出した温泉を活かすべき。例えば温泉を活かした野菜やハーブのハウス栽培を行い、安心して価値のある食材を地域のレストランや宿泊施設に流通させ、付加価値とブランド化をつける。起業支援や移住支援も行えば、確実に焼山地区に面白いことが色々と生まれます。</p> <p>④アートについて、昨年の芸術祭のように活動範囲や視点を地域の自然にもっと向けてほしい。どこまでアートの力に頼るか。アートは単体では機能しない。</p> <p>⑤奥入瀬のバイパス道路完成後の焼山地区が持つ機能と役割に、もっと具体性を入れて計画に付け加えてほしい。</p>	<p>①花と温泉とアートの3つの要素以外に、観光資源は存在するものと認識しており、計画の内容について再考しております。</p> <p>②大規模な植物の植栽は、費用対効果、奥入瀬溪流等の自然環境への影響等を勘案し、引き続き検討してまいります。</p> <p>③④⑤今後の参考とさせていただきます。</p>
36	H26.2.4	<p>①国道103号から湯ノ台方面へ入る交差点の案内看板のリニューアル</p> <p>②サイクリングロードの補修</p> <p>③湯ノ台から十和田湖温泉スキー場の馬による高原周遊コースの設定</p>	<p>①素案でもお示ししたとおり、サイン等のデザイン一新は必要であると認識しております。</p> <p>②事業の内容を踏まえ、補修の必要性を検討し、必要と判断される際には関係機関・団体へ働きかけてまいります。</p> <p>③既存の観光資源と認識しており、その連携等を今後も検討してまいります。</p>